

患者さんに直接渡せる

子宮良性腫瘍

腹腔鏡下子宮全摘術



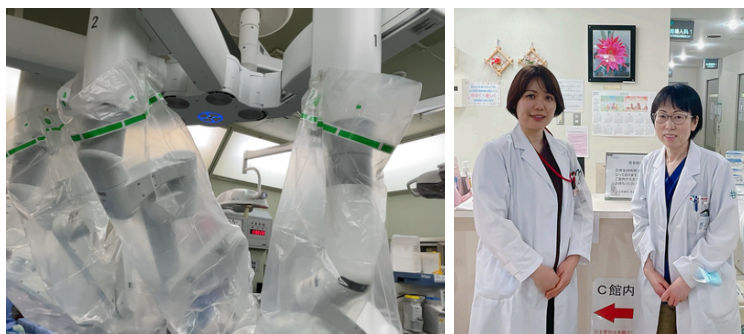
当院では、良性腫瘍に対する手術の多くを腹腔鏡下で実施しており、忙しい女性にとって選択しやすい術式です。緊急手術においても可能な限り腹腔鏡下での対応を行っています。

病変部分のみを切除する手術は、主に子宮筋腫で行われますが、子宮筋腫のみを摘出する場合は、子宮全摘術より術中の出血量が多くなることがあります。また、閉経まで再発のリスクが伴います。子宮全摘術後は月経が完全に止まるため、月経痛や出血に悩まされることがなくなります。

腹腔鏡手術 メリット

- ・ 体への負担が少ない（低侵襲）
- ・ 術後の回復が早い
- ・ 入院期間や療養期間が比較的短い

ロボット支援手術でも実施可能



腹腔鏡手術とロボット支援手術（ダビンチ）は、いずれも体への負担が少ない手術方法です。

腫瘍の大きさや位置、手術の難易度などを踏まえ、それぞれの特徴を活かして最適な方法を選択します。

入院の流れ

入院日

レントゲン
採血
お臍の掃除
21時より下剤 など



手術当日

絶飲食
抗生剤点滴
尿道に管をいれますが、
ベッド上は自由



術後1日目

食事は
五分粥⇒全粥
バルーン抜去⇒トイレ歩行可
点滴は食事摂取できれば終了



術後2～5日目

食事は常食
シャワー可
術後5日目に
退院

術後の経過や体調により、入院期間が前後する場合がございます。

